

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)	◎	一般小売店〔生花〕（経営者）	・12月には正月の花やお供えの花の需要がある。卒業シーズンの次に忙しい時期となるため、今年も準備万端で望みたい。
	◎	住関連専門店（従業員）	・高単価消費の後押しとなっているプレミアム付商品券はまだ予算枠があるためしばらく追い風が続くと予想される。加えて、長引く夏日の影響で高単価な秋冬商材の需要の波が遅れていたが、ようやく気温も下がり需要が高まると考えている。
	○	商店街（代表者）	・日常の食料品など消費物資の価格が高騰しているため買い控えはあるが、過ごしやすい気候になると購入の動きは良くなると考えられる。
	○	商店街（代表者）	・年末に向かうため忙しくなることに期待している。
	○	商店街（代表者）	・景気が良くなるように販売促進を仕掛けることを考えている。
	○	商店街（代表者）	・寒くなると秋冬物商材が出回るため、商品単価の上昇を期待している。
	○	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・今から日本茶がおいしい季節となり売上の増加に期待できる。しかし、年末年始には生活必需品の高騰が予想されるため、出費を抑える傾向になると考えられる。
	○	百貨店（企画担当）	・年末年始になり旅行客などの来客数増加が見込め、さらに、クリアランスセールが一斉スタートとなるため、景気はやや良くなると予想している。
	○	百貨店（リーダー）	・気候の変化で厚手の衣類の需要が高まり、また、お歳暮などの需要が見込まれるため景気は良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・年末に向けて催事行事は活発になるため、コンビニエンスストアのニーズも拡大する。
	○	家電量販店（従業員）	・寒くなってきたため、暖房器具の需要が増加する。
	○	乗用車販売店（従業員）	・初売りで来客数が増えることが見込める。
	○	乗用車販売店（役員）	・来年にかけて、受注残からの販売量が確保できている。認証不正問題の影響で新車発売の延期などに影響はあるが、今後の安定した受注環境への改善に期待したい。
	○	乗用車販売店（総務担当）	・今年度は前年を上回る新車配給があると見込んでおり、予想外のトラブルがない限り今期は好決算が見込まれる。
	○	乗用車販売店（役員）	・年末年始の商戦に加えメーカーの生産が回復基調にあるため、登録・納車等の販売が増えると予想される。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・これから気候が寒くなるため、年間を通して11～12月はコーヒーの売上が伸びる時期となり、一般の来客数が増加する傾向にある。外国人客の増加もあり、店頭や冬の需要の売上は増加し景気は良くなっていく。
	○	高級レストラン（経営者）	・11～12月の忘年会の予約は、20人以上の団体客は少ないが、20人までのグループの予約は増えている。
	○	一般レストラン（スタッフ）	・年末需要で一時的に消費拡大傾向になるため、景気はやや良くなる。
	○	観光型ホテル（支配人）	・宿泊利用は前年との比較では横ばいで推移しているが、宴会利用は同業他社で稼働を制限していることもあり増加傾向となっている。
	○	観光型ホテル（専務）	・紅葉のシーズンに入るため団体客、個人客共に増加する。
○	観光型ホテル（管理）	・複合施設がオープンしており、観光客の増加を期待している。	
○	都市型ホテル（販売担当）	・忘年会や新年会シーズンでは、売上増収が見込める。	
○	旅行代理店（統括者）	・政府や自治体における物価高対策や賃上げ対策、比較的好調な企業業績、インバウンド拡大政策等で引き続き景気は上向きになると予想している。	
○	旅行代理店（統括者）	・9月に冬休みの旅行の申込みが多かったため、10月は来客数が減少している。しかし、11月以降は、春休みの申込みが増えると予想している。	
○	タクシー（統括者）	・競合他社も同様に採用増加が継続している。そのため、客の奪い合いが見受けられるようになり、総収入の増加傾向は間違いはないが、その伸び方は鈍化すると予想している。	

○	通信会社（企画担当）	・引き合いは途切れていないが、割合は直近よりも来年度の引き合いが多くなっている。そのため、販売量は緩やかに増加するとみている。
○	通信会社（社員）	・代理店手数料等を考えると、景気は良くなる傾向にある。
○	通信会社（営業担当）	・観光業やイベントが復活している。
○	観光名所（従業員）	・通年秋の紅葉シーズンや雲海、神楽等、観光客が多くなる季節であるため、景気は上昇傾向になる。
○	観光名所（職員）	・高速道路の災害により一部区間が不通となっていた期間は店舗の売上が20%減になっていたが、復旧したことにより見通しが明るくなっている。
○	ゴルフ場（従業員）	・11月の予約は埋まりつつあり、しばらくこの状況が続く。
○	美容室（経営者）	・2～3か月先は晩秋となり、ファッション業界は少しずつ緩やかな上昇とともに景気回復に向かうと考えている。気候も涼しくなるとおしゃれの仕方も変化し、新製品も出るため、客の購買意欲が上向いてくると予想している。
○	理容室（経営者）	・例年、業界では12月に向かい少しずつ来客数が伸びる傾向にある。客は、全般的に物価高などの影響で単価が安い方に流れており、年末には期待をしたい。
○	美容室（店長）	・旅先では人があふれ、ホテルが満室となっているため、徐々に景気回復をされると考えられる。
□	商店街（代表者）	・街ではにぎわいが戻っているが、消費にはつながっていない。地方は大企業が少なく、中小企業や小規模な小売業が多くを占めており、物価が上昇しても賃金は据置きが多い。食料品以外の物販小売業は厳しくなっていくと予想している。
□	商店街（代表者）	・消費が上向く要因が見当たらない。
□	商店街（代表者）	・物価等がかなり上がっており、今の状況から景気が良くなる要因が全く見つからないため現状が続く。
□	一般小売店〔精肉〕（店員）	・売上は引き続き好調を維持できそうであるが、仕入れや販管費などが高騰しており、営業利益が伸び悩みそうである。
□	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・競りで欲しい魚が高額になっていることがあり、どのような販売をしているのか気になっている。現在様々な商品が値上がりをしており、消費者は魚を選ぶ余裕がないと予想している。小売店や飲食店では来客がないと嘆いている。
□	百貨店（企画担当）	・客単価の上昇はあるものの、その伸び率は鈍化している。現状は来客数が減少傾向にあり、短期間で景気が良くなるとは考えられない。
□	百貨店（経理担当）	・物価高の影響で衣料品等を購入しようとする消費マインドは依然として弱い。食品等は今後も好調に推移すると考えられる。外商においては、時計・宝飾の高額品も若干ではあるが伸びている。
□	百貨店（営業担当）	・恒例の大型物産催事を3週間開催し、全店催事に合わせ友の会の買物券交換と新年度入会促進で来店増加が見込める。お歳暮商戦の活発化や祭り、スポーツ大会開催で関連商品への関心が増大し、加えて、クルーズ船寄港の増便により周辺の街を含め、国内外の観光客増加が見込める。店頭では新規店舗の利用浸透やアプリ浸透による催事案内で来店促進が見込める。また、堅調な自家需要商材や紳士雑貨、インテリアやし好性の高いブランド品・舶来雑貨の購入意欲は継続しており、クレジットやコード決済による客単価、商品単価の伸びを見込んでいる。
□	百貨店（営業企画担当）	・年末年始の需要拡大に期待するものの、国内消費の冷え込みが大きく変化する好材料は見当たらない。
□	百貨店（経営企画担当）	・年末年始の最も売上が大きい時期ではあるが、物価高の影響がより強くなっていくことに加え、気温が高いことから衣料品の動きが鈍くなると予想される。
□	百貨店（業務担当）	・現状では、買物する心理が下がっている。購入する判断として今後の価値やお値頃感を追求することが増えており、売上の増加は厳しい状況である。
□	スーパー（店長）	・今年の年末年始商戦については前年と比較しても大きな変動はないと予測している。選挙結果次第では、景気を左右することが考えられる。
□	スーパー（店員）	・物価が上がり続けており、賃金が上がらなければ消費を抑えるしかない。最低賃金は実現可能な1200円程度の数字であれば、経営者も賃金の引上げを検討すると考えている。

<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・10月下旬までは例年よりも暖かく鍋物商材などがまだ動いていない。11月以降、気温が下がり始めると生鮮分野にはプラスに働くが、各種商材の値上げの状況によっては生活防衛のための買い控えが起こると懸念している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・10月に最低賃金の引上げを行ったが同時に商品の値上げもあったため、消費者の購入意欲は拡大しないと予想している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・今後も市場変化の要素は見受けられないため、現状のトレンドで推移する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・日本経済の生産性の向上がない限り、所得は上がらないため景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・今後の顧客の利便性が向上することに期待している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・2～3か月後も景気が良くなる気配がない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・年度も終わりに近づき、政権の先行きも不透明である。景気が上向きとはいえないが、今後の景気が良くなることに期待をして、企業努力を続けたい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・大胆な景気対策でもなければ金を消費に回す余裕はないため、景気に変化はない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・業界自体が冷え切っており、現状では販売量が増加する要素が何もないため、しばらく停滞すると予想している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が良くなる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・今月末に衆議院選挙があり、選挙期間中の売上は余り良くない傾向にある。今後の景気対策に期待したい。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・夏が続いており、3か月予報でも平年並みか、平均気温より高いため商況にはマイナスの影響になると予想している。映画のヒット作の有無や米、ガソリン等を始めとした生活必需品の物価に大きく左右されるため予想しづらいが、当館はポジティブなニュースも少ない時期でもあるため、劇的に良くなることはない想定している。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・10月の客足鈍化の要因がつかめておらず、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・ゴルフシーズンになるため期待はしたいが、台風や地震など災害の影響でまだ手が回らない状態である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・低迷を脱する機会が見当たらないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・物価の高止まり等の影響で、地域経済が好転する状況にはない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（業務担当）	・ネット回線や新電力の代理店として販売しているが、物価高に伴い代理店手数料が上がる話は聞いていない。必要経費が増加している状況でも売上は変わらないため、現状は景気が良くなる認識が持てない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員	・3か月先も今月の業況の良さを維持していると考えられる。
<input type="checkbox"/>	競馬場（職員）	・販売量には変化がなく、今後も動向を左右する好材料が見当たらないため、現況と変わりはない。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・委託請負を行っているが、最低賃金の上昇が想定より多いため、委託契約が更新されるまでは、採算が厳しい状況であると予想する。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・取り巻く環境が大きく好転することは想定できない。価格転嫁ができる業界は大幅な賃上げを実施又は来期も予定していることから、公定価格である介護事業は更に人材確保が厳しくなり、経営の好転材料が見えない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・物件の結果が出るのが2～3か月先になり、今月の景気が変わらないため、2～3か月先も横ばいである。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（代表）	・金利の動向によるが、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・全体的な客の動きに大きな変化はなく、今の状況が続く。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・秋のイベントを目の前にして、経済的に効果はあると予想しているが、買い控えがひどくなると考えている。
<input checked="" type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・現時点では気候要因を含めて比較できないため判断となる好材料がなく、今後は特に国内消費において上向き要因が見当たらない。

	▲	スーパー（店長）	・可処分所得の上昇は見込めず、景気が好転する要素は見当たらない。横ばいか下降傾向である。
	▲	スーパー（企画担当）	・10月から更に値上げになる商品群もあり、また、米不足は一旦落ち着きを見せているものの、価格は依然として高止まりとなっている。そのため、消費者の節約志向はしばらく継続すると考えられる。
	▲	コンビニ（経営者）	・物価上昇が続いているため景気は悪くなる。
	▲	コンビニ（経営者）	・今まで客単価は一定であったが、今後買い控えも多くなると予想しており、全体的な売上にも影響が出ると懸念している。
	▲	コンビニ（店長）	・円安による景気状況を注視したい。
	▲	家電量販店（店員）	・好転する市場材料がないため景気改善は考えにくく、早急な景気対策を希望している。
	▲	スナック（経営者）	・これから年末に向け外食産業では売上が増える季節であるが、9月、10月の状況がここまで悪いと景気上昇に期待ができない。物価高による支出の引締めが今後も続くと予想される。
	▲	観光型ホテル（営業）	・先行受注が芳しくないため、景気はやや悪くなる。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・旅行シーズンである今月の動きをみると、この先はやや売上が悪くなると予想している。数か月後の宿泊施設の予約数も国内より海外に動きが出てくると予想される。
	▲	旅行代理店（職員）	・年末年始の販売次第ではあるが、例年1月は10月より旅行の動きが鈍化するため、景気は悪くなる。
	▲	タクシー運転手	・選挙の結果により政治の混乱が予想され、警戒感からしばらくは庶民の消費意欲が鈍化すると予想している。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・前年と比較すると来場者数が若干減少傾向にある。
	▲	設計事務所（所長）	・材料や製品単価の上昇がまだ続くと予想されるため、年末年始も時期的な生活必需品の価格上昇が重なりと予想される。仕事の対価はなかなか上昇せず、可処分所得は減少すると考えられる。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・選挙は終わったが、経済の期待ができるような公約がなかった。政府は賃上げによる経済対策で景気を活性化させることを考えているようだが、景気は良くなれないと考えている。
	×	コンビニ（エリア担当・店長）	・売上が落ち込んでいるのにもかかわらず、人件費の高騰もあり利益が取れない状態がしばらく続いている。この先も利益を確保するには単価を上げるか利益を取れる商材の販売推奨が必要であるが、それも望めない状態が続いているため、人件費の高騰が頭打ちになることを期待している。
企業 動向 関連  (九州)	◎	経営コンサルタント（代表取締役）	・10月の経済が停滞していたため、今後2～3か月先は年末年始もあり、徐々に景気は良くなっていくと予想している。
	○	農林水産業（経営者）	・原料不足は11月で終わり、12月からは解消されると予想している。また、12月は年末需要もあり、工場生産や販売活動が回復してくる。しかし、鳥インフルエンザの発生が懸念され、既に3件の発生事例があるため、2年前のような状況になれば原料不足で商品の欠品状態が出てくることが心配される。
	○	家具製造業（従業員）	・業界では年度末までの期間は繁忙期となるため、案件数は増える傾向である。
	○	化学工業（総務担当）	・損益は前年より回復傾向にあり、この状況が続くと予想している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・今後の営業の手応えがあり、受注量がやや増えそうである。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・業務が多様化しており、人手不足や倉庫のスペース不足への対応が必須の状況である。
	□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・11月以降の商品リリースは余り予定しておらず、自治体向けに年度末の受託納期を控えているため景気は変わらない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・現状のような受注状態では、今後の取引先の景気に変化がないと危惧している。
	□	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・当初の予算計画の生産台数に対し内示されている計画に大きな振れはなく、横ばいが続く。
	□	輸送業（従業員）	・部品の調達や時間外の規制により、流通の流れが悪くなっている。発注等が多くても流通が追いつかない状態である。

□	輸送業（従業員）	・10月は年末に向けて在庫を増やす荷主が多くなるが、荷主は消費低迷の影響により先行き不透明であるため、年末でも輸入量を増加する状況ではない。
□	通信業（職員）	・電気工事の受注は良い状況であるが、情報通信工事に関しては今年度も部門としての目標が厳しい状況である。特に入札やプロポーザル案件の競争が厳しい。
□	通信業（経理担当）	・モノやサービスの価格がじわじわと上昇しており、すぐに価格転嫁ができない点は懸念しているが、良くも悪くも現状をキープすると考えている。
□	通信業（統括者）	・業務効率化等に向けたDXの必要性は感じつつも、実際の投資行動には結び付いておらず、今後の販売量も横ばいが続くと考えている。
□	金融業（従業員）	・百貨店やスーパーマーケットの売上は順調に増加しており、自動車の販売もやや回復傾向にある。しかし、住宅や家電の売上は力強さに欠け、物価上昇や人手不足などから先行きについてやや慎重になっている状況にある。
□	金融業（調査担当）	・建設業やサービス業などの人手不足に改善の兆しはみられず、物価高に対する消費者の警戒感も強まっていることから、景気は現状程度で推移する。
□	金融業（営業担当）	・国政選挙や米国大統領選挙の結果次第で状況に変化が出ると予想されるが、現状では先行きは不透明である。
□	金融業（調査担当）	・金利や物価上昇の影響による消費の伸び悩みは継続すると予想され、大きな変化はない。
□	新聞社〔広告〕（担当者）	・好材料が見当たらないため、景気は変わらない。
□	広告代理店（従業員）	・今後の世界情勢に変化はみえず、加えて、物価は高止まりしているため停滞感がある。3か月後についても大きな変化が起こることは予想しづらく、景気は変わらない。
□	広告代理店（役員）	・景気判断をする要因が乏しい。
□	経営コンサルタント（社員）	・人材の確保に苦勞する顧客や人件費の高騰、IT化への対応などを考慮しながら経営成績を伸ばすのは非常に厳しい状況下である。どのように対応すべきか、解決法が見つからない。
□	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に大きな変化がない。
▲	食料品製造業（経営者）	・当地域で、大型ドラッグストアのオープンが年末に予定されている。取引のある既存の地元ディスカウントストアへの影響は避けられない。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・今後の主要取引先の生産計画に下方修正が予想される。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・顧客からの情報では、景気はやや悪くなる。
▲	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・今の状況が年内続くと予想しており、先行きの不透明感が出ている。
▲	建設業（社員）	・県の第3回発注の見通しが発表されたが発注数は多くないため、今後は補正予算等により影響が出ると予想される。また、衆議院選挙の結果も発注に大きく影響することが考えられ心配している。
▲	輸送業（総務担当）	・更なる物価高や異常気象、世界情勢の不安定化などマイナス要因が多い。原材料も高くなり、荷主も生産量を抑えており、悪い流れになっている。
▲	金融業（営業）	・不安定な政局が懸念され、景気はやや悪くなる。
▲	不動産業（経営者）	・当社では経費削減策や経費の見直しを行っており、先行きはやや悪くなる。
▲	経営コンサルタント（社員）	・食品だけでなく全ての商品に対し節約傾向が進んでいるため、景気はやや悪くなる。
▲	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・建設コンサルタントの協会から地方自治体に対し、工期の末日を1～3月の間に設定しないように要望しているため、当市などからの設計等の業務が今後少なくなる可能性がある。自治体によっては、指名競争入札の通知が行われており、まだ影響は少ないと考えられるが、発注本数が少なければ価格競争が生じる可能性がある。
×	繊維工業（営業担当）	・周りの環境に追い付いていけない状況にあるが、先に最低賃金対策から行っているため、経済は回っていかなくなる。繊維関係企業の倒産が懸念される。

	×	建設業（従業員）	・物価上昇に加え、国の補助等も終わる。また、増税や戦争による石油施設への攻撃などの影響を受け、景気は悪くなる。
雇用 関連  (九州)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・これから年末に向けて、消費は拡大すると考えている。懸念材料は物価高であるが、新政権の施策を期待したい。
	□	人材派遣会社（社員）	・政権をどの党が取るかにより経済政策が変わると予想されるが、大きな変化はないと考えている。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数については3か月前より改善しているが、前月と比べると余り変化がない。ただ、求職者の動きが微増ではあるが活発になりつつある。
	□	人材派遣会社（社員）	・年末年始などが近づいており、休みも入るため求人案件は横ばいが続く。また、求職者数は良い案件があった場合にすぐに動けるようにと求職活動を急いでいる感じがしない。
	□	新聞社〔求人広告〕（社員）	・物価高や衆議院選挙の結果が年末商戦にどのように影響するのか不透明である。
	□	職業安定所（職員）	・製造関連など一部の企業の求人数は増加しているが、全体的には減少傾向に推移している。景気上昇の要因がみられず、今後も横ばいが予想される。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・景気の良しあしだけでなく、少子化の影響もあるため現状が続く。
	□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・10月末の衆議院総選挙の結果、政権政党が議席の過半数割れをし、政権運営の先行きが不透明となり、株価や為替相場等も不安定な状況が続くと予想される。今後は物価高騰と大手を除く中小企業の賃上げの先行きが危惧されるが、輸出企業を始めとする好調な企業収益が、物価高騰を上回る賃上げや将来を見据えた設備投資の拡大など前向きな支出につながることを期待している。一方、一部業界では人手不足が続いており、企業の採用意欲は継続している。
	▲	人材派遣会社（社員）	・物価上昇や最低賃金の改定に伴い、派遣料金も急騰している。求職者を集客するために必要な条件であるが、企業では長期的に人材が必要でも予算を組めない場合もあり、スポットでの依頼にとどまるケースも発生している。
×	学校〔専門学校〕（就職担当）	・人材不足によって事業を縮小せざるを得ない企業が出てくると予測しているため、景気は悪くなる。	